

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会 長 橋本正巳  
 新潟県山岳協会  
 上越市南城町2-3-37  
 TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男  
 柿崎町百木1023  
 TEL 0255-36-3958

編 集 新山協ニュース編集  
 委員会代表 諏訪恵一  
 TEL 0258-35-4373

## 北信越国体の報告

### 成年男子と少年女子が埼玉国体に出場 少年男子は出場権を逃がす

7月24日・25日、石川県金沢市医王山スポーツセンターで北信越国体山岳競技会が行われた。

24日(土)午後、スポーツセンター第2体育館の外壁に設置されたクライミングウォールで競技が始まった。ウォールは高さ12m、幅3m余り、傾斜角105度のものが2面になっている。右側の壁はパターンのある常設のもの、左側は今大会用に足場を組んでベニヤ板で仮設された。右側の壁は少年用のルートに使い、左側のそれは成年用にルートセットされた。成年の使うホールは間隔を広く取って取り付

けられていて、大きさも極めて小さい。ベニヤ板表面の塗料の光具合からして、いかに滑りやすそうに見えた。

少年女子と成年女子の同時進行で、1番目の選手が登り始めた。少年女子の春日萌子、恩田悠の両選手は、ゆっくりとした速度で登り、ともに15pのホールドで時間切れ、落下となった。個人順位は2位と3位。1位は富山の選手で、20pのホールドで落ちてしまった。(最終ホールド28p)成年女子は予想通り全員が小さなホールドに大苦戦している模様を展開し

で、スタートしてすぐの部分で落ちた選手もいた。秋元加奈子、小林美久の2人の選手も最初の部分から手こずり、それを越えたつぎの部分で手が止まって競技を終了した。順位は6位と5位。成年と少年の女子の完登者はいない。

少年男子のルートはホールドを1個も替えることなく、女子のルートがそのままの状態が使われた。スタート順1番の脇田大翼選手が、流れるような動作で登った。余裕を見せて完登。(28N)ついで樋口大棋選手が手足を大きく伸ばしながら登りだし、最終ホールドひとつ手前までは無難に進んだ。



惜しくも2位に終わった少年男子



本国体への出場権を獲得した少年少女

### 第25回北信越国民体育大会山岳競技 新潟県選手団体成績表

期日 平成16年7月24日(土)・25日(日)

会場 医王山スポーツセンター、奥医王山周辺

区 分	縦 走 競 技			ク ラ イ ミ ン グ 競 技			種 別 成 績		
	所要時間	得 点	順 位	到達高度	得 点	順 位	合計順位	種別順位	国 体 出 場 権
成年男子	1:50:13	81.611	4	36NN	64.286	1	5	2	○
成年女子	1:48:39	90.489	3	14+N	25.000	4	7	4	
少年男子	1:19:56	100.000	1	56N-	100.000	3	4	2	
少年女子	1:43:14	100.000	1	30N-	53.571	2	3	1	○

縦走競技は、1位のチームが100点  
 クライミング競技は、最終ホールドに到達すると50点(最終ホールド今回は28P)  
 選手2人が最終ホールドに到達すれば100点(56NN)  
 少年男子は1名がクリップして28N完登、1名はクリップ出来ず28-完登ならず  
 富山と長野は、2名とも28Nで完登、順位2県ともに1位

### 7・13水害御見舞

このたびの7・13水害で被害に遭われた会員各位には心より御見舞申し上げます。

また、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

新潟県山岳協会会長

橋本 正巳

他役員一同

しかし、最終ホールドに、真正面から体を大きく伸ばしたままで挑んだ。最終ホールドに達した手は伸びきっていて、体全体を支えきれず、落下してしまった。最終ホールドとの間には、左手前方にフットホールドが取り付けてあって、それに左足をかけて体重を乗せれば、ホールドに楽々手が届くようになっていた。左手のそのホールドが目に入らなかつたらしい。この見逃しが順位決定に大きく響いた。彼より後に登った6名の他県選手は、うち5名が完登してしまい、個人順位1位者が脇田選手を含めて6名となる。樋口選手は、最終クリップが完了してないことで、順位は7位に下がってしまった。油断して落とし穴にはまり込んだようなものだ。

25日(日)朝、田島町のスポーツセンター魚沼町の菱池競技のコースは、標高約320mこのスタート地点から、最高標高地点約940mの奥医王山山頂のゴールを目指す。標高差登りがおよそ620m、途中2箇所の下りがあるが、2つ合わせても30mくらいしか過ぎない。全コース距離約4800mと事前発表にあった。給水場は1箇所、コースを歩いてみて、その場所はコース中間よりもややスタート地点に近いように思えた。スタートするとコンクリートで簡易舗装された道は、折れ曲がりを取り返しなから登山道の入り口まで続く。登山道に至るまでが迷いやすいといえる。スタート後最初のみ左に曲がり、後は分岐になるたびに右側に

選択して進めばよい。運営側の石川県山岳協会では、分岐点やコースの主だった場所を写真に撮り、そのカラーコピーを用意してくれた。登山道手前の細い畦道を走って登山道そのものに入ると、溝の中に迷い込んだ感じになる。細い道の両側は2m以上もある土の壁になっている。両側の壁の上には木が生えているため、太陽の光が直接体に当たることがない。両側が高くなっているの、雨が降れば水は確実にこの登山道の中を流れる。給水所を除くと、全コース同じような景観が続く。ゴール地点の奥医王山山頂に出ない限りは、展望は全くきかない。登山道に入ってしまうと、その幅の狭い形状から追い越すは困難を極めるであろう。負荷重量は、成年少年とも女子は8kg、男子は10kgとなっていた。

尚宏の両選手がゴールした。成年男子今井浩二選手は5位、同じく平嶋元選手は9位、成年女子須藤吉住選手3位、小林美久選手が7位になった。少年女子恩田悠選手は健闘して1位でゴール、同じく水落あすか選手は4位に入った。

少年男子縦走競技全国2連覇の目標が、夢とはかなく消えてしまった。埼玉国体では、少年女子と成年男子の奮闘を期待してやまない。

競技部 渡邊 正之 記

成年男子が登る前にホールドの付け替えがあった。間隔はさらに広くなり、ルートに従えば体をさらに横にした動きが必要になる。山田真史選手は前の晩の練習で、マットの隙間に左足を引っかけて足首の部分が大きく腫れてしまった。左足の踏ん張りがきかず、両足を大きく開いたところから落下した。今回は実力を発揮しないまま競技が終わる。平嶋元選手は体を横にするような動作をくり返しながら順調

に高度を稼いでいった。クリップするには体のバランスが取りにくいと見て、足場のよい場所にと一旦下がる。再度挑戦するために登り始めたところで落ちてしまった。先程のホールドに戻る事が出来なかつた。成年男子のルートのグレイドは、5・11cdくらいであろうか。平嶋選手が2位、山田選手が5位というのは、2人にとつてもに本意の成績であろう。

少年男子が8時にスタート、ついで5分後に成年男子、さらに5分間隔で成年女子、少年女子の順になっていた。最後にスタートした少年女子の水落あすか、恩田悠の両選手は、登山道に入る直前は3・4番手につけていた。

奥医王山山頂のゴールに、スタートしてから35分余りで富山の少年男子選手が駆け込んだ。ついで、樋口大棋、柳

クライミングボード設置募金に対し、皆様方から多大なるご支援を頂きありがとうございます。ご協力のほど宜しくお願いいたします。前号掲載後に募金されご協力いただいた方々ありがとうございます。

【7月の募金ご協力者】

永田栄一(ゆきみ山の会)、平田大六(関川村山の会)、とろっこ山の会、山田智子(越後山岳会)、新潟山岳会、阿部信一(新潟山岳会)、安野立子(新潟山岳会)、望月力(秀峰山岳会)、小林富夫(ユニオン航空サービス)、JAC越後支部、中野良夫、

滝沢良雄(柿崎山岳会)、十日町山路野会、上村虎夫(十日町山路野会)、水野正則(十日町山路野会)、沢田啓子(吉田山岳会)、水野博、樋口靖(十日町楽山会)、高橋欣弘(長岡HC)、矢沢健三(悠峰山の会)、滝沢信一(十日町山路野会)、関川村山の会、小田幸男、村山英雄(十日町あすなろ山の会)、加藤いずみ(九期山の会)、丸山祐一郎(映彩山岳会)、今井浩二(CFC)、中村光信(いりやま岳友会)、諏訪恵一(長岡HC)

(順不同、敬称略)

総務委員長 七澤恭四郎

【訂正】先月号の募金一口5千円は、一口1万円の誤りです。

# 賛助会入会のお願

新潟県山岳協会では、賛助会員を募集しております。

当協会は登山を通じ、県民体育の向上と加盟団体相互の親睦融和を図ることを目的としております。各委員会では個々の事業を実施するに当たって、加盟団体からの分担金と受益者負担によって賄っておりますが、現状では大半の事業で、十分な財源を持つて実施されているという状況では

なく、場合によっては、ご苦労されている担当各位のボランティアによって活動しているというのが実情であります。

このためとは申し上げられませんが、当協会の目的と事業に賛同するものを個人、団体を問わず、賛助会員とすることが出来ることとなっております。新年度に入り、より協会の活動を容易にするため、賛助

会員を募集する事といたしましたので、各位のご理解と趣旨へのご賛同を賜り、多数のご入会を宜しくお願い申し上げます。

新潟県山岳協会会長  
橋本 正巳

会員については本内規によるものとする。

第2条 賛助会員は、本協会の目的、事業に賛同する団体及び個人で理事会の承認を得たものとする。

第3条 本協会は、賛助会員について次の通り処遇する。

(1)本協会機関紙「新山協ニュース」及び「賛助会員名簿」を発行のつどそれぞれ送付する。

(2)入会した時に「新山協ニュース」紙上に氏名等を発表し、広く普及を図る。

第4条 賛助会員は、規約第19条2項の規定に基づき会費を納入するものとする。この内規は平成14年1月19日から施行する。

## ◇賛助会費

年額 一万円  
申込み・問合せ

総務委員長 七沢恭四郎

〒943-0154

上越市稲田4-12-31

TEL/FAX 025-523-7661



白亜紀中期の花崗閃緑岩よりなる飯豊山地

## 山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

### ③4 深成岩系地層の多い下越の山

下越の山は、棚倉構造線の西側に位置する山形県境から、朝日山地・櫛形山脈・飯豊山地・五頭山地、そして川内山系のグループなどから成っています。

北部山形県境には、構造線の活動によって生成された、高圧型マイクロナイト化（縞状組織を呈する圧砕岩）した白亜紀花崗岩と、変成作用を受けた千枚岩があります。海岸線から内陸にかけて、白亜紀上部の小川草水型花崗岩が分布し、中央部に三畳紀の粘板岩・砂岩などの堆積層が南北方向に割り込んでいるのです。

櫛形山脈と飯豊山系は、広域に深成岩が分布し、蒜場山・焼峰山には石材にもなる球状花崗岩など、類似した地層があります。

川内山系は、放散虫化石を含む三畳紀の堆積岩が主で、周辺には第三紀層も見られます。

このように、下越地方は、大半が中生代の同系の地層からなり、親しみ易いたよわかな山容の山々が多いのです。

## 海外・国内旅行、主催・手配



## ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第553号・IATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員  
本社 新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

□長岡営業所 〒940-0284 長岡市幸町1丁目3番5号 (0258)33-7123  
— 総務部長 渡辺 昌 氏  
□新潟営業所 〒950-0916 新潟市米山3丁目2番11号 (025)246-2266  
— 総務部長 渡辺 昌 氏

## 第7回新潟カップ開催について(要項)

新潟県内のクライミングの普及とレベルアップを目的として、下記のとおり、第7回新潟カップを開催します。ロープ等の豪華賞品もご用意しておりますので、多数のご参加をよろしくお願いいたします。

期日 9月19日(日)  
競技開始9:30(受付8:30)  
会場 国際アウトドア専門学校 クライミングウォール  
〒949-2219  
中頸城郡妙高村原通70  
TEL:0255-82-4450

- 種別
1. ジュニア 小学生の部  
男子、女子
  2. ジュニア 中学生の部  
男子、女子
  3. ジュニア 高校生の部  
男子、女子
  4. シニア 男子、女子  
(男子50歳以上、女子40歳以上)
  5. オープン 男子、女子  
(年齢制限なし)

※1人1つの種別にだけ参加できます。  
競技方法 オンサイト・リード方式(ジュニア小学生はトップロープ方式)  
参加費 ジュニア 1,000円/人、シニア・オープン 2,000円/人  
(締切日を過ぎて受付した人は、ジュニア200円増、シニア・オープン500円増)  
参加資格  
・リードクライミングのできる人  
・新潟県内に在住・通勤・通学している人  
申込方法/問合せ  
・申込書に記入し、郵送もしくはFAXで申し込み下さい。  
〒950-0814  
新潟市逢谷内2-5-26  
内山 豊 方  
新潟県山岳協会クライミング委員会  
携帯 090-1049-7101  
TEL:025-271-3637  
FAX:025-271-3651  
・インターネットによる申し込み、問い合わせ  
youcan@iris.ocn.ne.jp  
インターネットによる申し込みは、氏名、住所、最高オンサイトグレード、種別、性別、身長を記載してください。  
申込締切 平成16年8月29日(日) 必着

## 第43回全日本登山体育大会開催要項

本年度の全日本登山体育大会は、東京都山岳連盟の主管で青梅市他を会場に開催されます。  
要綱を案内しますので、多数の参加をお願いいたします。

◇期日 平成16年11月20日～22日

◇開催場所 青梅市/受付、開会式、参与会

立川市/宿泊、懇親会、閉会式

八王子市・奥多摩町・松原村/登山コース

◇目的

全日本登山体育大会は全国の岳人が集い、ともに登山することにより、登山技術の向上と交流を図る事を目的とし、あわせて相互の親睦を促進しようとするものです。また、日本の美しい自然が現在、未来にわたって日本人の心を養い続けるものである事を念頭におき、自然保護に積極的な取り組みをすることを誓いつつ実施するものです。

◇大会テーマ

紅葉の峰と清流の里・奥多摩「首都東京の山々を歩く」

◇日程 11月20日(土)

12:00 受付(青梅市民会館)

13:00 開会式、オリエンテーション、山協参与会議

14:30 登山コース別行動

11月21日(日) 各コースに従って登山行動

11月22日(月) 閉会式(パレスホテル立川)

◇参加資格

①都道府県山岳連盟(協会)より推薦された者

②日本山岳協会の役員、参与および賛助会員

③地域の登山普及を図るため、特に認められた者

◇コース別募集人数

雲取山 約100名

三頭山周辺 約100名

御前山周辺 約100名

高尾山 約50名

景信山 約50名

◇参加費 三万円(宿泊費、食費、移動費を含む)

◇問合せ・申し込み 総務委員長 七沢恭四郎  
〒943-0154  
上越市稲田4-12-31  
TEL/FAX:025-523-7661

◇申込締切 平成16年9月15日

### 登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

### 登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク  
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL:0258(37)1200-FAX:0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>